

当報告の内容は著者の著作物です。

KKLO・マレーシア サバ州の言語の言語ドキュメンテーションに関するワークショップ
報告要旨

日時：2014年8月11日（月）-12日（火） 9:00-16:00

場所：コタキナバル・リエゾンオフィス

主催・The Kadazandusun Chair and Faculty of Humanities,
Arts and Heritage, UMS

・SIL International

・Kota Kinabalu Liaison Office, Research Institute for
Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo
University of Foreign Studies (ILCAA, TUFS)

使用言語：マレー語、英語

塩原朝子（AA 研所員）

マレーシアサバ州には数多くの少数言語が話されているが、その多くはマレー語への言語シフトにより話者数を急激に減らしている。そのため、少数言語と言語を通して伝えられる貴重な文化遺産の早い段階でのドキュメンテーションが望まれる。

このワークショップでは、サバ州の言語研究者による言語ドキュメンテーション活動を支援するため、8月11日に言語ドキュメンテーション、データマネージメントに関する講義を、8月12日に、録音、ドキュメンテーション用ソフトウェア ELAN に関する講義・実習を行った。

ワークショップでの交流により、サバ州における言語学者のネットワークを築くとともに、現在 IRC プロジェクトとして申請中の言語データアーカイビング事業への協力も求めた。